

## 入院化学療法治療計画書

発行日 年 月 日

〈治療レジメン名〉

術前DCF療法

変更 (① / 、② / )

薬剤	投与量	投与方法	投与スケジュール
ドセタキセル	70mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	Day 1
シスプラチン	70mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	Day 1
5-FU	750mg/m <sup>2</sup>	持続点滴静注	Day 1~5

科目 科 主治医

患者名 様 ID:

生年月日:(M・T・S・H) 年 月 日( 歳) 性別: 男性・女性

身長 cm 体重 kg 体表面積 m<sup>2</sup> 病名

## 【Day 1】

No.	予定時刻	ルート	用法	薬剤名(規格量)	指示量	施行量	所要時間
	:	側管	点滴	生理食塩液	50mL	1B	ルート確保
ア	:		経口	イメンドカプセル	125mg	1C	
イ	:	側管	点滴	電解質輸液(TPN可)	500 mL	1 B	120分
ウ	:	側管	点滴	電解質輸液(TPN可)	500 mL	1 B	120分
エ	:	側管	点滴	グラニセトロン注バッグ3mg デキサート注	100mL 6.6mg	1B 1V	30分
オ	:	側管	点滴	生理食塩液 ドセタキセル注「ニプロ」	250mL 70mg/m <sup>2</sup>	1B mg	60分

※[カ][キ]は同時投与

カ	:	側管	点滴	生理食塩液 シスプラチン注「マルコ」	mL 70mg/m <sup>2</sup>	B mg	計500mL 120分
キ	:	主管	持続点滴	生理食塩液 5-FU注	500mL 750mg/m <sup>2</sup>	1B mg	24時間
ク	:	側管	点滴	電解質輸液(TPN可) フロセミド注(20mg)	500 mL 20 mg	1 B 1 A	120分
ケ	:	側管	点滴	電解質輸液(TPN可)	500 mL	1 B	120分
コ	:	側管	点滴	電解質輸液(TPN可)	500 mL	1 B	120分
	:	側管	点滴	生理食塩液 (ルート確保に用いた残り)			

## 【Day 2~5】

No.	予定時刻	ルート	用法	薬剤名(規格量)	指示量	施行量	所要時間
ア	:		経口	イメンドカプセル	80mg	1C	
イ	:	主管	持続点滴	生理食塩液 5-FU注	500mL 750mg/m <sup>2</sup>	1B mg	24時間

〈治療開始日〉 年 月 日

〈投与スケジュール〉 術前療法:21日(3週)で1クール⇒3クールまで

Day	1	2	3	4	5	8	15	22
5-FU	↓	↓	↓	↓	↓	休薬	休薬	休薬
シスプラチン	↓	休薬	休薬	休薬	休薬	休薬	休薬	休薬
ドセタキセル	↓	休薬	休薬	休薬	休薬	休薬	休薬	休薬

【注意事項】(同一レジメンを使用する患者全員に対して)

例) バイタルをとるタイミング・回数、血管外漏出時の対応 (Dr. コール前にする事)

- ・イメンドカプセルは、1日目:125mg(化学療法開始1時間～1時間30分前)、  
2～5日目:80mg(午前中)に内服すること。
- ・遅発性嘔吐に関しては、デカドロン錠0.5mg8T/Dayや、内服困難例にはデキサート注6.6mgを投与可能とする。(2日目～)
- ・症状に応じて、ナゼアOD錠を追加投与可能(2日目～ ※5日間までの処方制限あり)

【患者個別対応】(患者個人での注意事項)

例) アレルギー、終了後の安静など